

令和7年度 第10回理事会

日 時：令和8年1月9日（金）16:30～

場 所：森林総合研究所（つくば市）特別会議室

I. 議 題

1. 第6期中長期計画（案）の提出について（非公表）〔総合調整室〕

II. 報 告

1. 令和8年度予算概算決定の概要について〔総合調整室〕
2. 令和7年度保険料収入及び保険金支払の実績（暫定値）について（非公表）
〔森林保険センター〕
3. 災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について
〔森林保険センター〕

III. その他

1. 今後の主な会議・行事予定について
2. 主要行事
3. 森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

令和 8 年度予算概算決定の概要について

令和 8 年度予算案は、令和 7 年 12 月 26 日に閣議決定され、その概要は別紙のとおりです。

(1) 令和 8 年度林野庁関係予算の概要	1～5
(2) 森林総合研究所、林木育種センター関係予算	6
(3) 森林整備センター関係予算	7～11

令和8年度 林野庁関係予算の概要

			令和7年12月
区 分	令和7年度 予算額	令和8年度 概算決定額	令和7年度 補正予算額
公 共 事 業 費 (対前年度比)	億円 1,973	億円 1,992 101.0%	億円 1,155
一般公共事業費 (対前年度比)	1,880	1,899 101.0%	863
治 山 事 業 費 (対前年度比)	625	628 100.5%	340
森林整備事業費 (対前年度比)	1,256	1,271 101.2%	523
災害復旧等事業費 (対前年度比)	93	93 100.0%	293
非 公 共 事 業 費 (対前年度比)	1,095	1,120 102.3%	264
合 計 (対前年度比)	3,068	3,112 101.4%	1,419

(注)1 林野公共関係予算の総合計は2,814億円

- ・林野公共事業(令和8年度概算決定):1,899億円
- ・林野公共事業(令和7年度補正予算):863億円
- ・路網の整備・機能強化対策(非公共(令和8年度概算決定・令和7年度補正予算)):52億円

2 上記のほか、農山漁村地域整備交付金に、林野関係事業を措置している。

3 金額は、関係ベース。

4 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

令和 8 年度林野庁関係予算の重点事項

8 年度当初予算	3, 1 1 2 億円
7 年度補正予算	1, 4 1 9 億円

(※) 各事項の下段 () 内は、令和 7 年度当初予算額

I 鳥獣被害防止対策等

1 鳥獣被害防止対策等

	【8 年度当初】	【7 年度補正】
① 鳥獣被害防止対策とジビエ利用の推進	1 0 0 億円の内数 (1 0 0 億円の内数)	7 0 億円の内数
<ul style="list-style-type: none">・ 鳥獣被害の防止に向け、農地周辺での加害性の高い個体の重点的な捕獲や侵入防止柵の管理負担軽減などのスマート鳥獣害対策の推進、クマ・シカ・イノシシの捕獲対策の強化、高度な鳥獣被害対策人材の育成・確保を支援するほか、森林における効果的・効率的なシカ捕獲の取組を推進・ 捕獲鳥獣を有効活用し、更なるジビエ利用を拡大するため、処理加工施設の整備や情報発信の強化等による需要拡大の取組を支援		

Ⅱ 2050年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」の実現に向けた森林資源循環利用施策の総合的な展開

【8年度当初】

【7年度補正】

① 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

154億円

(林業・木材産業国際競争力強化総合対策)

(144億円)

450億円

(花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策)

56億円

- ・2050年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」を実現するとともに、花粉発生量の削減にも資するよう、DXの導入等を図り、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進

ア 森林集約・循環成長対策

80億円

124億円

(70億円)

- ・森林資源の循環利用に取り組む経営体への森林の集積・集約化を進めるため、国有林とも連携した関係者による地域の森林の将来像の作成・共有、境界確定、デジタル森林情報の共有等を支援
- ・路網の整備・機能強化、搬出間伐の実施、再造林の省力・低コスト化、エリートツリー等の安定供給、スマート林業の実装に向けた先進的な林業機械の導入、森林病虫害対策の推進とともに、木材加工流通施設の整備や木造公共建築物の整備等を支援

イ 木材等の付加価値向上・需要拡大対策

15億円

33億円

(14億円)

- ・JAS構造材やCLT等を活用した木造化、木材利用による温室効果ガス（GHG）排出削減効果の「見える化」の促進、合理的な木材価格の形成の促進、木材産業の人材確保に向けた取組等を推進
- ・CLT等の輸出促進、合法伐採木材の利用促進、木質バイオマスを活用した「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の競争力強化等を支援
- ・持続的な森林管理に向け、森林空間利用や企業の森林づくり活動等、森林の様々な価値や機能の総合的な利活用を図る「森業（もりぎょう）」を推進

ウ 森林・林業担い手育成総合対策**46億円****21億円**

(47億円)

- ・「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、林業大学校で学ぶ就業前の者への給付金給付、高校生の林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策等の取組を支援

エ スマート林業・DX推進総合対策**3億円****7億円**

(2億円)

- ・林業機械の自動化・遠隔操作化技術や森林内の通信技術・木質系新素材の開発・実証、スマート林業技術を活用する新たな作業システムの構築、地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する戦略拠点の構築等を支援

オ 森林・山村地域活性化振興対策**10億円**

(10億円)

- ・森業の振興などを通じた山村地域の活性化に向け、里山林の整備・活用に取り組む組織の確保・育成、里山林を活用し収入を得る「半林半X」を含めた活動の実践を支援

② 花粉症解決に向けた総合対策＜一部公共＞**56億円**

(林業・木材産業国際競争力強化総合対策)

450億円の内数

- ・スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉飛散量の予測・飛散防止、スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証の取組を推進

③ 森林整備事業＜公共＞**1,271億円****523億円**

(1,256億円)

- ・森林吸収源の機能強化や国土強靱化に資する、林野火災対策、クマ・シカ等対策、森林の集積・集約化に向けた間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良、花粉発生源対策としてのスギ人工林の伐採・植替えや路網の整備等を推進

【8年度当初】

【7年度補正】

④ 治山事業＜公共＞

628億円

340億円

(625億円)

- ・能登半島における複合災害等の教訓を踏まえた短期間でより多くの箇所安全性を向上させる応急対策の強化や施工性の高い工種・工法の導入促進など、国土強靱化に向けた効率的かつ効果的な取組を推進

⑤ 農山漁村地域整備交付金＜公共＞

762億円の内数

(762億円の内数)

- ・地方が地域の自主性と創意工夫を活かしつつ実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援

Ⅲ 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

(1) 防災・減災、国土強靱化の推進

【8年度当初】

【7年度補正】

① 治山施設の設置等による対策＜公共＞

340億円

- ・山地災害危険地区や重要なインフラ周辺等において、流木・土石流・山腹崩壊の抑制対策等を推進

② 森林整備による対策＜公共＞

258億円

- ・山地災害危険地区や氾濫した河川上流域等において、間伐、再造林、幹線となる林道の開設・改良等の対策を推進するほか、林野火災対策やクマ・シカ等対策を実施

(2) 災害被害の復旧・復興

① 災害復旧等事業＜公共＞

180億円の内数

896億円の内数

(180億円の内数)

- ・被災した農地・農業用施設、治山施設、林道施設、漁港施設等の速やかな復旧等を実施・支援

国立研究開発法人森林研究・整備機構 研究・育種勘定運営費交付金

令和8年度予算概算決定額 10,816,848千円（前年度 10,364,803千円）

<対策のポイント>

森林・林業・木材産業に関する試験・研究、林木の育種や優良な原種苗木の生産・配布等を行うことにより、森林・林業・木材産業のグリーン成長の実現及び諸課題の解決に積極的に貢献します。

<事業目標>

- 森林・林業・木材産業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業の着実な推進
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標の達成

<事業の内容>

- （国研）森林研究・整備機構は、森林・林業・木材産業に関する総合的な試験・研究等を行うことにより、森林・林業・木材産業が抱える諸課題の解決に貢献し、森林の持続培養を図るとともに、林業に関する技術の向上に寄与し、もって林業の振興と森林の有する公益的機能の維持増進に資することを使命としています。

- 森林・林業・木材産業分野における行政課題に対応した試験研究等を実施し、森林・林業・木材産業のグリーン成長の実現に貢献します。

- 令和8年度は第6期中長期目標・計画の初年度となるため、重点化すべき研究課題を見直し、中長期目標・計画期間に推進すべき国の施策ニーズに対応した追加的な研究課題にも取り組みます。

<事業の流れ>

交付（定額）

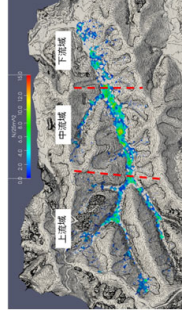
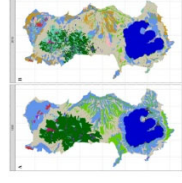
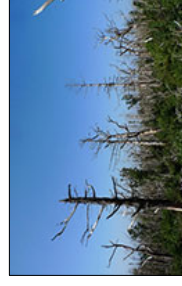


国立研究開発法人森林研究・整備機構

<事業イメージ>

森林研究・整備機構の試験・研究課題（第5期中長期目標）と取組事例

(1) 環境変動下での森林の多面的機能の発揮に向けた研究開発

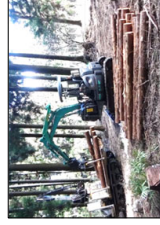


森林吸収量算定の精度向上

温暖化による森林帯の変化

流木捕捉量予測ツールの開発

(2) 森林資源の活用による循環型社会の実現と山村振興に資する研究開発



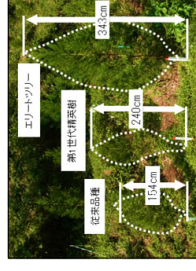
林業機械の自動化

木の酒

構造用木質材料

新規セルロース系素材開発
(耐水性塗料の開発)

(3) 多様な森林の造成・保全と持続的資源利用に貢献する林木育種



環境制御による育成期間短縮

成長等に優れた品種の開発

乾燥に強いスギ品種の開発

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課（03-6744-2312）

森林整備事業＜公共＞

令和8年度予算概算決定額 127,133百万円（前年度 125,565百万円）
〔令和7年度補正予算額 52,282百万円〕

＜対策のポイント＞

森林吸収源の機能強化や国土強靱化に資する、林野火災対策、クマ・シカ等対策、森林の集積・集約化の加速化に向けた間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等の推進に加え、花粉発生源対策として伐採・植替え、路網整備等を推進します。

＜事業目標＞

- 森林吸収量の確保に向けた間伐の実施（45万ha〔令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均〕）
- スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減〔令和15年度まで〕、5割削減〔令和35年度まで〕）

＜事業の内容＞

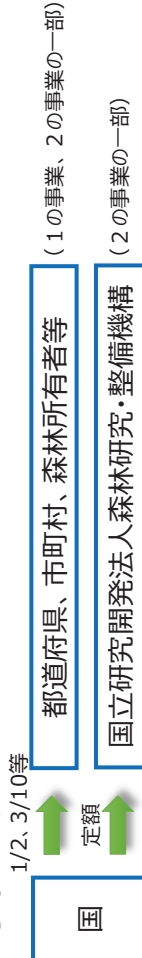
1. 間伐や再造林、路網整備等

- ① 省力化・低コスト化を進めつつ、間伐や再造林等の適切な森林整備を推進するとともに、林業適地等における林道の開設・改良等を推進します。
- ② 森林の集積・集約化を進める地域において、基盤となる林道の整備や効率的な森林整備を支援します。
- ③ 花粉発生源対策として伐採・植替え、路網整備等を支援します。

2. 豪雨・台風等による被害を受けた森林の整備、林道の強靱化等

- ① 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林、重要インフラ施設周辺の森林等について、市町村等の公的主体による復旧・整備を推進するとともに、防災上重要な幹線林道の整備を推進します。
- ② 林野火災の危険度が高い地域において、山火事防止施設を備えた防火機能の高い林道や延焼防止に資する防火林帯の整備を支援します。
- ③ クマ類を始めとする野生鳥獣の人身被害対策として、生息環境整備のための広葉樹林化や林縁部における緩衝林帯の整備等を支援します。




＜事業の流れ＞




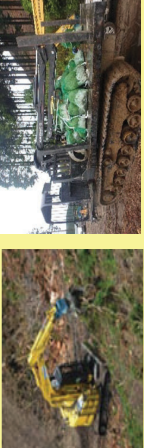

※ 国有林においては、直轄で実施

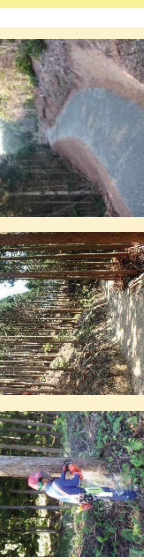
＜事業イメージ＞


間伐や再造林、路網整備等








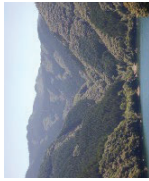












豪雨・台風等による被害を受けた森林の整備、林道の強靱化等









【お問い合わせ先】 林野庁整備課（03-6744-2303）

森林整備事業〈公共〉【復興対策】（拡充）

令和8年度予算概算決定額 3,624百万円（前年度3,871百万円）

＜対策のポイント＞

放射性物質の影響を受けた地域における森林・林業の再生に向け、放射性物質を含む土砂の流出防止を図るための間伐・路網整備等を推進します。

＜政策目標＞

土壌を保持する能力等が良好に保たれている森林の割合の増加

＜事業の内容＞

1. ふくしま復興加速化森林整備事業（公的タイプ）

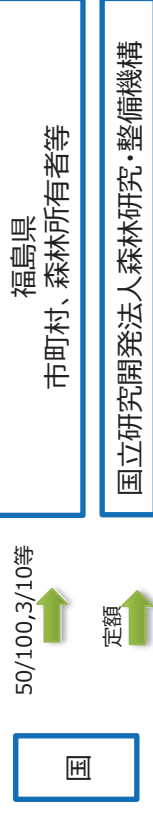
帰還困難区域や除染特別地域、汚染状況重点調査地域その他空間線量率が高い地域において、放射性物質の影響等で所有者自らでは整備が進めがたい森林について、**県・市町村の公的主体による間伐等の森林施業や、これらに必要な林業専用道の整備等を推進**します（ふくしま森林再生事業は本事業を活用して実施します）。

帰還困難区域においては、**既設林道の改良や機能回復を推進**します。

2. ふくしま復興加速化森林整備事業（民間タイプ）

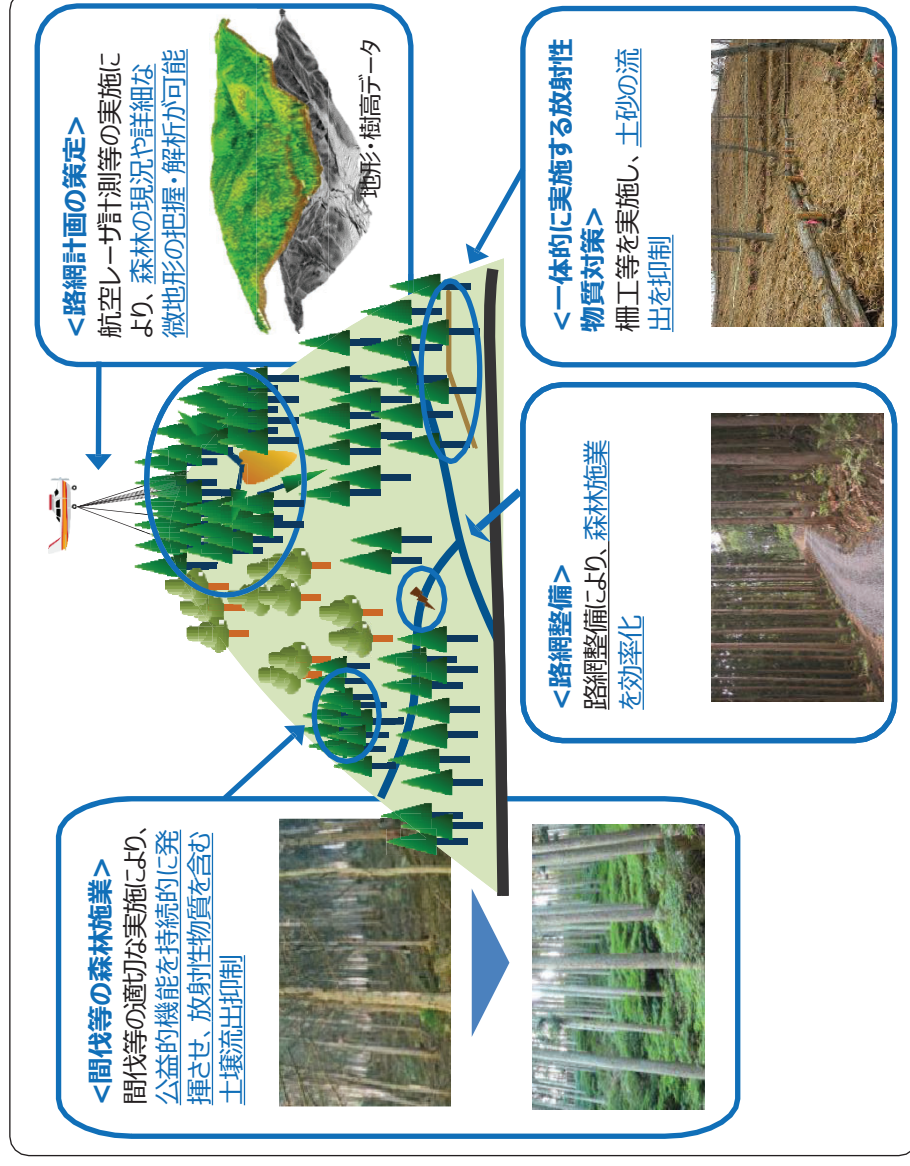
1と同じ地域において、**森林所有者等が行う放射性物質対策と一体となった間伐等を推進**します。

＜事業の流れ＞



※このほか国有林における直轄事業を実施

＜事業イメージ＞



幹線林道事業移行円滑化対策交付金（継続）令和8年度予算概算決定額 52,020千円（前年度 52,020千円）

<対策のポイント>

平成20年4月1日に緑資源機構が解散し、緑資源幹線林道事業も廃止したことに伴い、業務を承継した国立研究開発法人森林研究・整備機構において既設幹線林道に係る賦課金等の徴収、借入金の償還を円滑に進める必要があります。

<事業目標>

既設幹線林道に係る賦課金等の円滑な徴収、借入金の償還

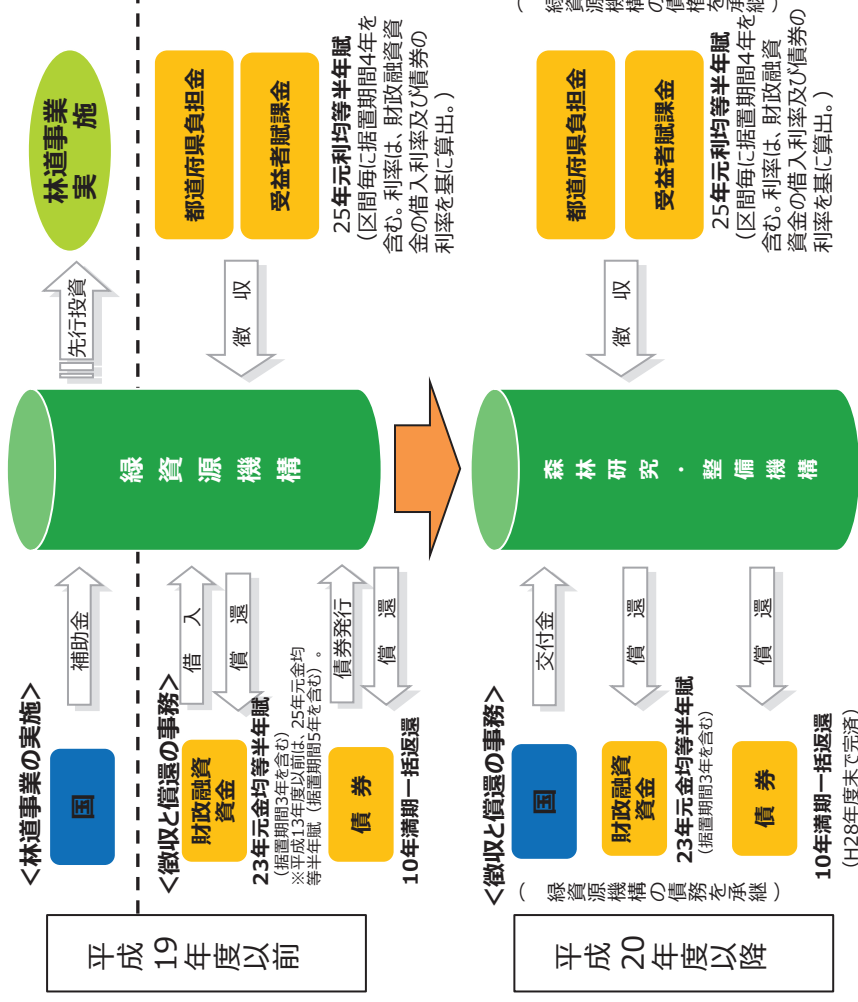
<事業の内容>

<事業イメージ>

○ 賦課金等の徴収のための事務費

国立研究開発法人森林研究・整備機構における既設幹線林道に係る賦課金・負担金の徴収に係る事務費を措置します。

<事業の流れ>



放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業（拡充）

令和8年度予算概算決定額 3,788,641千円（前年度 3,731,121千円）

＜対策のポイント＞

被災地の森林・林業の再生を図るため、森林内における放射性物質の実態把握、ほだ木等原木林再生のための実証、間伐等の森林整備と一体的に行う土砂流出防止柵の設置等の放射性物質対策に加え、帰還困難区域の森林整備の再開に向けた実証事業等を実施します。

＜事業目標＞

森林・林業の再生を通じた被災地の復興

＜事業の内容＞

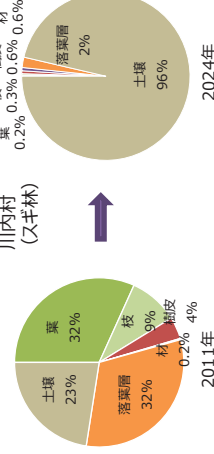
＜事業イメージ＞

1. 森林内における放射性物質の実態把握

233,096千円

- 森林内の放射性物質による汚染実態等を把握するため、樹冠部から土壌中まで階層ごとの放射性物質の分布状況等の調査・解析、樹木による放射性セシウムの吸収に関係する土壌化学性の調査等を実施します。

1. 森林内における放射性物質の実態把握



2. 森林・林業再生に向けた実証等

2,019,463千円

① 帰還困難区域等における実証

帰還困難区域等において、地域住民の帰還と林業の再生を円滑に進められるよう、森林施業が放射性物質の動態に与える影響等の検証や実証事業を実施します。

② ほだ木等原木林再生のための実証

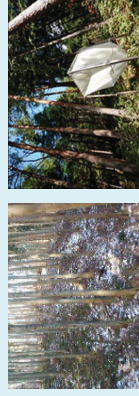
放射性物質の影響を受けている里山・広葉樹林の計画的な再生に向けた実証的な取組を支援します（「里山・広葉樹林再生プロジェクト」は本事業を活用して実施します）。

③ 情報の収集・整理と情報発信等

森林・林業の再生に向けた情報の収集・整理と情報発信、帰還困難区域における安全な森林作業のためのリスクコミュニケーションを実施します。

2. 森林・林業再生に向けた実証等

① 帰還困難区域等における実証



間伐等の影響検討

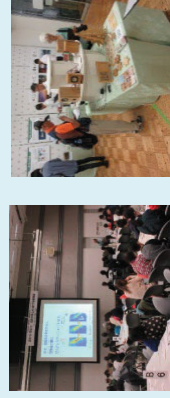
リターの蓄積量把握

② ほだ木等原木林再生のための実証



伐採後のほう芽更新
原木林の成林
伐採及びほう芽更新木の濃度測定による再生実証「里山・広葉樹林再生プロジェクト」の推進

③ 情報の収集・整理と情報発信等



シンポジウム

企画展示

3. 放射性物質対処型林業再生対策

1,536,082千円

① 森林整備の実施に必要な放射性物質対策

事業地を選定するための汚染状況重点調査地域等の森林の放射線量等の概況調査、作業計画の検討を行うための事業対象森林の調査、森林所有者等への説明・同意取付等を支援します。

また、放射性物質の移動抑制のための筋工の施工等森林整備を実施する際に必要な放射性物質対策を支援します（「ふくしま森林再生事業」は本事業を活用して実施します）。

② 里山再生事業

住居周辺の里山において、住民の安全・安心の確保に資するため、環境省・復興庁による除染・線量測定の取組と連携して森林整備を実施します。

3. 放射性物質対処型林業再生対策

① 森林整備の実施に必要な放射性物質対策



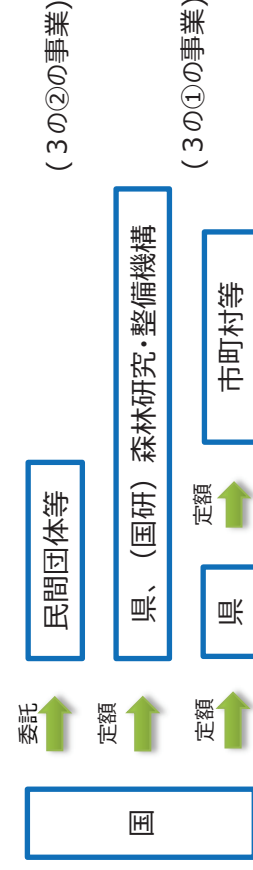
② 里山再生事業



＜事業の流れ＞



※ 1の一部は国有林による直轄事業



※ 3 ①の一部は国有林による直轄事業

(2の①、②の事業)

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課 (03-6744-9530)
業務課 (03-3503-2038)

災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について
〔・令和 7 年青森県東方沖を震源とする地震に伴う災害 〕

- 上記災害により、災害救助法の適用を受けた区域を対象に、森林保険契約の継続手続きの猶予措置を定めた通知を森林保険業務の委託先である道府県森林組合連合会等に出発するとともに、森林保険センターホームページにも掲載。
- 措置内容は、
 - ①保険契約者が保険期間満了の30日前までに継続契約の申込みができなかった場合であっても、森林保険センターが猶予措置を決定した日から6月を経過する日の属する月の最終営業日までに申出があった場合は、同日まで継続契約の締結手続きを猶予する。
 - ②猶予期間内に保険料を添えて継続契約の申込が行われた場合は、現契約と同一の契約条件により、現契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとする。

災害救助法の適用による森林保険のお手続き猶予措置状況

対象災害等	対象区域 (防災情報のページへリンク)	お手続き猶予措置 決定日 (括弧書きは最新の決定日)	お手続き猶予措置 期限	お手続き猶予措置 終了日
令和7年青森県東方沖を震源とする地震に伴う災害	青森県の3市7町2村 岩手県の5市4町3村	2025/12/9	2026/6/30	
令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災に伴う災害	大分県の1市	2025/11/19	2026/5/29	
令和7年台風第22号に伴う災害	東京都の7町村	2025/10/9	2026/4/30	
令和7年9月12日からの大雨に伴う災害	三重県の1市	2025/9/16	2026/3/31	
令和7年台風第15号等に伴う災害	静岡県9市1町	2025/9/5 (2025/9/8)	2026/3/31	
令和7年9月2日からの大雨	秋田県の1市1町1村	2025/9/3 (2025/9/17)	2026/3/31	
令和7年台風第12号に伴う災害	鹿児島県の1市	2025/8/29	2026/2/27	
令和7年8月20日からの大雨	秋田県の1市	2025/8/21	2026/2/27	
令和7年8月6日から低気圧と前線による大雨	石川県の1市 山口県の1市 福岡県の1市 熊本県の6市5町 鹿児島県の4市	2025/8/8 (2025/9/8)	2026/2/27	
令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波	北海道の69市町村 青森県の9市町村 岩手県の12市町村 宮城県の15市町 福島県の3市町 静岡県の8市町 三重県の2市	2025/7/30	2026/1/30	
令和7年台風第8号に伴う災害	沖縄県の2村	2025/7/30	2026/1/30	
トカラ列島近海を震源とする地震	鹿児島県の1村	2025/7/10	2026/1/30	
令和7年3月23日に発生した林野火災	愛媛県の2市	2025/3/27	2025/7/31	2025/8/1
令和7年岩手県大船渡市における大規模火災	岩手県の1市	2025/2/27	2025/7/31	2025/8/1
令和7年2月17日から日本海側を中心とした大雪	青森県の6市3町1村 新潟県の1市	2025/2/21 (2025/2/26)	2025/7/31	2025/8/1
流域下水道管の破損に起因する道路陥没事故	埼玉県の1市	2025/2/12	2025/7/31	2025/8/1
令和7年2月4日から大雪	福島県の3市11町5村 新潟県の5市2町	2025/2/10 (2025/2/13)	2025/7/31	2025/8/1
令和6年12月28日から大雪	青森県の10市町村	2025/1/8	2025/7/31	2025/8/1

今後の主な会議・行事予定について

日 付	研究	整備	保険	行 事 名	場 所 等
1月9日～ 2月4日	○			森林（もり）のギャラリー	近畿中国森林管理局（大阪市） （ブース出展：関西支所、関西育種場）
1月15日	○			ワークショップ「庭園史・文化財研究のための樹木年輪調査法」	関西支所（京都市） （主催：関西支所、京都産業大学）
1月22日	○			SATテクノロジー・ショーケース2026 異分野交流による知の触発 in つくば 最新研究・技術のフリーマーケット	つくば国際会議場（つくば市） （主催：つくばサイエンス・アカデミー、共催：森林総合研究所ほか）
1月22日	○			森林講座「日本へとつながるアジア大陸の人類移動、氷河期の森林拡大が要因だった」	多摩森林科学園森の科学館（八王子市） （主催：森林総合研究所）
1月28日～ 30日	○			グリーンインフラ産業展2026 ～自然共生社会の実現～	東京ビックサイト（東京都江東区） （主催：日刊工業新聞社）
1月30日	○			関西地域評議会	関西支所（京都市） （主催：関西支所）
1月31日	○			公開シンポジウム「温暖化最前線！～鹿児島 の植物たちはどうなる？～」	鹿児島大学稲盛会館（鹿児島市） （主催：九州支所）
2月2日	○			九州地域評議会	九州支所（熊本市） （主催：九州支所）
2月4日	○			北海道地域評議会	北海道支所（札幌市） （主催：北海道支所、北海道育種場）
2月4日～ 6日	○			会計実地検査（第4局）	森林総合研究所 （実施：会計検査院）
2月6日	○			四国地域評議会	高知会館（高知市） （主催：四国支所）
2月12日～ 13日	○	○	○	WOODコレクション（モクコレ）2026	東京ビックサイト（東京都江東区） （主催：東京都、WOODコレクション 実行委員会）（ブース出展）

2月15日	○			森林教室「森林のいろいろなやくわり」	関西支所（京都市） （主催：関西支所）
2月16日	○	○		北海道地域公開講演会	北海道大学学術交流会館（札幌市） （共催：北海道支所、北海道育種場、北海道水源林整備事務所）

主要行事（令和7年12月5日～令和8年1月8日）

月 日	行 事 内 容	出 席 者
12月5日(金)	【共】理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、監事
12日(金)	【研】第2回契約監視委員会	企画・総務・森林保険担当理事、監事
11日(木)	【育】林木育種実務担当者会議	育種事業・森林バイオ担当理事
12日(金) ～13日(土)	【研】第25回白神山地世界遺産地域科学委員会	理事長
15日(月)	【研】森林GISフォーラム	企画・総務・森林保険担当理事
17日(水)	【研】国立研究開発法人審議会林野部会	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、森林業務担当理事、法令遵守担当理事
19日(金)	【研】筑波大学との意見交換会	理事長、研究担当理事
24日(水)	【研】一般社団法人全国木材検査・研究協会 製材等 JAS 認証の審査・判定委員会	研究担当理事
1月6日(火)	庁議	理事長

※【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事の略

森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

○ 前月以降公開済の研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	石礫層を貫くクロマツの根系と微生物の協働 ー海岸林がもつ防災力を高めるための科学ー	オカモト トオル 岡本 透 立地環境研究領域	Plant and Soil	2025/08	プレスリリース
2	スギ大断面製材の含水率を電波で“壊さず”測定 ー「大断面・高含水率」の技術的ハードルを突破ー	ミヨシ ユカ 三好由華 木材加工・特性研究領域	木材工業	2025/12	プレスリリース
3	種子が植食者の糞を感知して食害を回避 ー糞中成分が安全なタイミングでの発芽を可能にするー	ムカイ ヒロミ 向井 裕美 関西支所	New Phytologist	2025/12	プレスリリース
4	痩せた土壌で小さな虫たちを支える根の“じゅうたん” ー極端に酸性な土壌における針葉樹(ヒノキ)と虫のかかわりー	フジイ サオリ 藤井 佐織 森林昆虫研究領域	Plant and Soil	2025/12	プレスリリース
5	落葉を「お菓子の家」として評価することで土壌動物群 集を説明しました ー植生から地下の生物群集を推測する一歩にー	フジイ サオリ 藤井 佐織 森林昆虫研究領域	Journal of Ecology	2025/11	プレスリリース

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	「大径材の活用による国産材 製品の安定供給システムの 開発」公開シンポジウム	森林総合研究所	大径材活用コンソーシアム、 森林総合研究所、 兵庫県立農林水産技術総合 センター森林林業技術セン ター	アクリエひめじ(姫路 市)	11月27日(木)	
2	農林水産技術会議委託プロ ジェクト「炭素貯留能力に優 れた造林樹種の効率的育種 プロジェクト」第3回成果発表 シンポジウム	林木育種センター	林木育種センター	オンライン	11月27日(木)	
3	農林水産技術会議委託プロ ジェクト研究 「管理優先度の高い森林の抽 出と管理技術の開発」成果報 告会	森林総合研究所	森林総合研究所	星陵会館(千代田区) 、オンライン	12月18日(木)	
4	森林講座「固有種の宝庫、小 笠原諸島の林木遺伝資源保 全に向けた取組」	森林総合研究所 多摩森林科学園	森林総合研究所	多摩森林科学園 森の科学館 (八王子市)	12月19日(金)	
5	全国花粉の少ない森林づくり シンポジウム2025	森林総合研究所	全国林業改良普及協会	横浜シンポジア (横浜市)	12月20日(土)	